

2021年度 チャレンジ・サイト報告書

分類型	課題発見型・研究発展型
-----	-------------

プロジェクト名	地域の光る生き物生態マップを作ろう！		
プロジェクト 代表学生	代表者名	学 科	環境生物科学科
		氏 名	伊木思海

今年度の活動内容	活動回数	月約 4回 /年間約 40回
<p>活動目的</p> <p>○きっかけと動機 ホタルやミミズ等の光る生き物の存在についての認知は広まっているが、身近に生息する光る生き物や、どういった環境に生息しているかについては広く知られていない。これらを明らかにすることによって、地域をより深く理解する材料となると考えたため本企画を実施した。</p> <p>○本活動の意義 身近な光る生き物について調べることで、地域理解や環境教育の材料となる。</p> <p>○最終目標 地域(愛知県内、中部大学内)の光る生き物生態マップの作成</p> <p>活動計画 【具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採集が主になるため、対象生物種について理解したうえで採集に臨んだ。 ・扱う生物種を陸棲の光る生き物に限定し、確認できる季節が異なる生物種を選択し、年内の活動でバランスよく採集できるようにした。 ・過去の文献で得られた確認情報と本企画で得られた確認情報をもとに生態マップを作成した。 <p>実際の活動内容</p> <p>4月：ホタルミミズの採集(学内)</p> <p>5月～9月：イソミミズの採集(県内)、ザウテルアカイボトビムシの採集(学内)まとめ</p> <p>10月～2月：ホタルミミズの採集、ザウテルアカイボトビムシの採集(学内)、ヒメボタル(幼虫)の採集、まとめ</p>		

プロジェクトの経過と成果	掲げた目的、目標と関連付けて具体的かつ簡潔に記入してください。
<p>活動中の課題と解決策</p> <p>○活動中に困ったこと</p> <ol style="list-style-type: none"> ① メンバー同士の交流が活発化しなかった。 ② 調査に際して、参加できる学生が少なかった。 ③ 他学科の学生や地域住民を交えた活動を行えなかった。 ④ 本企画のメンバーは同学科の学生のみ構成されており、他学科の学生がいなかった。 <p>○解決をどのように図ったのか、解決できたか</p> <ol style="list-style-type: none"> ① メンバーで集まる頻度を増やすこと、共同で行うことを増やした。 ② 活動回数を増やし、積極的な声掛けを行った。 ③ メンバー同士で案を模索したが、実現には至らなかった。 ④ 他学科の学生に対して声掛けを行ったが、解決できなかった。 <p>活動の体験について</p> <p>○プロジェクトメンバーにとってどんな体験であったか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意外に身近に生息していることを知り、これまでよりも関心を持った。 ・ 光る生き物について知ることができ勉強になった。 ・ 他の光る生き物を扱うともっと面白くなると感じた。 ・ 小さい規模の活動だったけれど充実した内容だった。 ・ 	
プロジェクトの成果の公表	学会発表や大会参加、見学会開催等の体外的な公表の機会や新聞取材等があれば記入してください。